

開 倫 塾 2026/2 NEWS

●受験勉強は、1年がかりで行い、
第一志望校に合格を果たそう！

塾長 林 明夫

●直前講習

間々田校長 古橋 慎

●春期講習

新栃木校 1号館 山本信広

●塾生のひろば

新栃木校 2号館

●私の勉強方法 No. 206

栃木市立大平中学校(大平校) 1年 K・S

●私の勧める勉強方法 音読の効果

鹿沼東校校長 飯竹麻衣

第445号

音読の効果

鹿沼東校校長
飯 竹 麻 衣



開倫塾 鹿沼東校

1. 語彙力・読解力が上がる

音読は、文章を読みながら同時に自分の耳で聞いていることにもなります。言葉を聞き、発音し、何度も反復することによって、新しい単語やフレーズを学ぶ機会が増え、語彙力が向上します。語彙力が上がることにより、言葉と文章の関係が理解しやすくなり、問題文の意図を把握する読解力の向上にもつながります。また、音読は文章のリズムや文法構造を理解するのにも役に立ちます。

2. 脳の働きが活発になる

音読では、「聞く」、「発音する」、「理解する」など、複数の言語的な能力が同時に働くため、脳の言語処理領域を活性化させます。そして、繰り返し音読を行うことによって、さらに脳の働きを活発にします。また、読み流しだと必要な情報や興味のある情報しか認識できませんが、音読は声を出して読み進めるので、見落としが少なくなります。目で見て頭にインプットした文章を、声に出してアウトプットし、さらに耳で聞いて、音声として再認識します。誰でも興味のあることは黙読でも記憶に残りますが、知らない知識を学ぶときにこそ、音読が最適なのです。

3. 集中力が高まる

大好きな書籍や漫画は、誰もが楽しみながら読めるので、それほど集中することは難しくありません。ところが、苦手な勉強になると、ストレスを感じた脳が無意識に他のことに意識を向けさせようとします。しかし、音読は注意力の制御や調整に関係している脳を活性化するため、注意力が高まります。それによって、学習効果も高まります。勉強に取り組む前に15分程度音読を行うことにより、その後の勉強により集中することができるでしょう。ぜひ実践してみてください。



If you can dream, you can do it!

(もしあなたが夢をみるのであれば、あなたはそれを実現することができる)

開倫塾ホームページアドレス ● <http://www.kairin.co.jp>



受験勉強は、一年がかりで行い、 第一志望校に合格を果たそう！

開倫塾 塾長 林 明夫

開倫塾教育目標
高い倫理力
高い学力
高い国際理解
自己学習能力の育成

Q 第一志望校合格のための受験勉強は、いつから始めればよいのですか。

A (林明夫、以下省略)

(1) 受験勉強で一番大切なのは、「自分は受験生である」という「自覚」です。「受験生としての自覚」を持つて勉強に励むのと、「入学試験があるから、ただ何となく勉強する」とのでは、「雲泥の差」があります。

(2) 本題に戻ります。では、いつから受験勉強を始めたらいいか。一番のおすめは、「第一志望校」を決定したその日から「受験生としての自覚」を持ち、「自己責任」「自助努力」で受験勉強をスタートすることです。

(3) 受験勉強をスタートするのは、早ければ早いほどよい。なぜか。受験勉強は、学ばねばならないことが多いので、スタートが遅いと、入試までに勉強し終えないことがあるからです。できれば、今、この時期、「受験1年前からスタートすること」をおすすめします。

(4) 中学入試(私立中、公立中高一貫校入試)なら小5生から、高校入試なら中2生から、大学入試なら高2生から、1年間かけて「受験勉強」することを、心からおすすめします。

Q では、小5生、中2生、高2生はこの時期、どのようなことを受験勉強として行えばよいのですか。具体的に教えてください。

A (1) 入試には、今学校で学んでいる全範囲の内容が出題されます。また、通っている学校の成績(内申点)も、多くの学校で参考にされます。入試教科はもちろん、入試に出題されない教科も、内申点で評価されます。(2) ですから、今までに学んだ内容、今学んでいる内容を、しっかりと理

Q そのためには、今、何を行えばよいのですか。

A (1) どの学校も、2月の中・下旬に「学年末試験」、3月初旬には「実力テスト」があります。また、「模擬試験」もあります。1月から3月までは、英検、漢検、数学・算数検定等の検定試験があります。これらの試験を最大活用して、スミまで身に付ける(定着させる)こと。そして、「過去問練習」をし

解して身に付けて、これから行う「学年末試験」でよい点数を取り、内申点アップに結び付けることが大事です。受験教科は、もう一度、すべて正確に理解し、しっかりと身に着け(定着させ)、受験学年に勉強し直さなくてもよいレベルにまでしておくことです。

(3) 「不得意分野」があれば、徹底的に克服しておくことです。

(2) まず、2月にある学年末試験で、全教科100点満点を目指すこと。そして、12月、1月、2月まで3か月かけ、全教科の1年間の総復習を行うこと。さらに、全教科の学校の教科書・学校問題集、教材、授業ノート、まとめノートを、もう一度、全部ていねいに読み、「腑に落ちるまで」学び直す、「理解すること」です。

(3) 読み方や、よく意味のわからないことがあったら、辞書や参考書で調べる。「計算や問題」は、もう一度、全部やり直す。なぜそのような答えになるかわからなければ、よく調べる。それでもわからないければ、学校や開倫塾の先生

に質問して、わからないことをな

(4) ①教科書や問題集が理解できた

ら、スラスラよく読めるようになるまで「音読練習」。「英語は発音練習」。「大切なところは、何も見ないでいえるまでにする(暗唱)」。

②教科書に出ている語句は、固有名詞を含め、正確に書けるようになるまで、「書き取り練習」。「何も見ないで書けるまでにする(暗写)」。

③「学校教科書」や「学校問題集」の「計算や問題」は、5〜6回解くことをおすすしめします。そして、何も見ないでも、条件反射で答えが出るまでにす

(5) 「教科書」「問題集」「授業ノート」「まとめノート」は、「スミからスミまでやり直し」「スミからスミまで全部覚えること」「スミからスミまで全部覚えることが、100点満点を取る秘訣ポイント」です。スミからスミまでよく理解し、スミからスミまで全部覚えれば、「学年末試験」で全教科100点満点が取れます。

(6) そのために欠かせないのが、まずは、「理解」。次に、理解した内容の「音読練習(暗唱)」、「書き取り練習(暗写)」、「計算・問題練習」です。そして最後に、「過去に出題された問題を、5〜6回、解く練習(過去問練習)」です。

Q なぜ、「学年末試験の勉強が」、「受験勉強」にとって、大切なのですか。

A (1) 中学入試には小5生の、高校入試には中2生の、大学入試には高

2 生の内容がたくさん出題されるからです。

(2) 受験勉強だと考え、今の学年の勉強は、受験学年になってやり直さなくてもよいくらい、すべて「理解」し、「定着」させ、「学年末試験」で100点満点が取れるまでにしておきましょう。受験学年に入る前に、今まで学んだ内容・分野の弱点分野をゼロにしましょう。

(3) 受験勉強には、「謙虚さ」が大切です。不得意分野を学ぶときに欠かせないのは、「自分の弱点」を認めて「学び直す」、「謙虚さ」、「素直な心」です。

(4) その一方で、各教科の得意分野は、勇気をもって、入試問題にも挑戦、「入試に耐えられる得点力」を身に着けましょう。優れたところは、ドンドン伸ばす。受験勉強に、遠慮は一切いりません。

(3) このように、「受験生としての自覚」として大切なのは、「不得意分野を自覚して、徹底的に勉強し直す、謙虚さ、素直さ」です。同時に、「得意分野を自覚し、過去問に挑戦し、また、上級学校の勉強にも挑戦する、チャレンジ精神」も大切です。「受験勉強に遠慮は不要」です。

A Q

最後に一言どうぞ。

(1) 学年末試験が終わったその日から、GWが終わる日までに、受験学年の「学校教科書」「学校問題集」の予習を、できるだけたくさん行いましょう。そうすれば、「第一志望校合格」の夢は、現実のものになります。

(2) このように受験勉強は、「受験生としての自覚を持ち、今日から1年かけて行うこと」をおすすしめします。「自分の未来は、自分で切り開く」、「自己責任」、「自助努力」で行うのが受験勉強です。

(宇都宮大学大学院工学研究科客員教授
作新学院大学 客員教授)

直前講習

春期講習

間々田校長
古橋 慎

1. 直前講習とは

入試が近くなるにしたがって学習に力が入り、皆さんの学力は十分についていることでしょう。入試直前は仕上げの段階に入ります。授業や普段の自学自習の演習を通して、各教科の傾向もわかってきていると思います。入試を目前に控えたこの時期に必要なのは、これまでの学習を整理し、努力してきたことに自信を持つこと、そして、予想問題を通して最終的な仕上げをすることです。入試はわずかな点数の差により合格が分かれる場合が多いため、仕上げの仕方によって試験当日の姿勢や結果が変わってきます。そこで開倫塾では、毎年、直前講習を実施しています。ここでは、開倫塾の講師陣が総力を挙げて作成した公立高校入試予想問題、これは、過去の出題傾向や最近出題が多い分野などを分析して作成されています。これを解くことで、考え方のヒントや出題分野の予想を得ることができ、多くの受験生から好評を得ています。



2. 得点より大切なもの

直前講習では、開倫塾の講師陣が総力を挙げて作成した公立高校入試予想問題に挑戦します。加えて、予想問題を解くだけでなく、必要に応じて、覚えておいてほしい重要な事項をまとめた指導も行います。開倫塾の講師陣は、予想問題を通して、本番の公立高校入試で類似問題が出題され、塾生の皆さんがそれを正解でき、このことを期待しています。また、この講習で解き方のヒントや記述問題の注意点を改めて学び、その知識や経験を本番で発揮してくれることを願っています。

直前講習の問題は試験形式で解き、自分で採点を行います。この点数がよかった場合は皆さんに自信をつけてもらうこと、もしあまり期待した得点ができなかったとしても、そこから学んだことを本番の入試の糧にすることを望んでいます。何よりも、塾生の皆さんがこれまでの努力で培ってきた自信を持ち続け、入試前の仕上げをして、持てる力を最大限発揮してもらうために、直前講習はあるのです。

3. 入試直前の学習法

入試直前に行うのは、直前講習の復習とこれまで取り組んできた教材の見直しです。復習の仕方においては、教科や分野ごとに時間の使い方が変わってくるでしょう。合格点を取るために必要な分野はどんなのかは、これまでの学習を通して皆さん自身がわかってきているはずで、絶対に見えなくておくべきところ、正答率を上げるべきところなどに焦点を絞って復習しましょう。

また、よく出題される記述分野の答え方について注意すべきことをお話しします。記述問題は、文章の書き方次第で得点に差が出ることは皆さんもわかっていて、思いいます。入試本番では、試験時間の3分の2を過ぎたところが勝負になります。直前講習で提供するのは入試と同じように構成されていますから、こうした点も踏まえ、時間配分の最終チェックをしておくとういでしょう。もし、予定していた時間を過ぎた場合は判断が求められるか、それとも、次の問題に進むのか、という判断は、受験者本人だけがわかる重要なところでは、これまで努力してきたことを試験時間の中で一杯発揮できるように、しっかりと準備をして仕上げをしてください。

直前講習が皆さんにとって有意義なものになり、笑顔で合格発表を迎えられるよう期待しています。頑張りましょう。

新栃木校1号館
山本 信広

1. 新環境に向け気持ちの準備をしよう

皆さんは春という何を思い浮かべるでしょう。出会い・別れ・花粉症などそれぞれだと思います。いろいろな人や環境と出会う春ですが、心の持ちようによって、その出会いが一生の宝物にもなり、その逆もありえると思います。皆さんが前向きな気持ちで笑顔でいることによって、周りによい人との環境が吸い寄せられてくるはずです。なぜなら、前向きで笑顔な人はそれだけで魅力的だからです。

前向きに新学期を迎えるためには、学習面での準備も欠かすことができません。春期講習ではそのための準備をしっかりとしていきます。開倫塾の春期講習で習ったことをしっかりと理解し、毎日の学習で定着させ、4月からの学校生活で活用できるようにしていきましょう。

2. 目標を決めよう

春休みの目標を決めましょう。笑顔で前向きに過ごすための目標です。①自分の苦手なところ・わかっていない箇所を、なるべく具体的に挙げておくこと。

わからないところが具体的に、近道です。そこを授業中に重点的に聴き、それでもわからないところや、春期講習で習わないところは教科担当の先生に質問して一つ一つ解決していきましょう。

②今日のコンコができるように、できることを増やすこと。

今日やる学習は、明日以降の学習と密接に関わっています。昨日の学習が身に着いていければ、今日やることもきちんと身に着けられます。たくさん春休

③自分の笑顔の基になるような目標を設定すること。

学習面だけでなく、よいこと、を、目標を立ててしっかりとやりきりましょう。そうやって自信を育てていくと、自分自身の魅力も上がっていくことでしょう。



3. 授業の受け方を見直してみよう

新学年を迎えるにあたり、授業の取り組み方もリニューアルしてみよう。例として、①黒板に書いてあること以外もしっかりとメモを取る。②できた問題とできなかった問題が後で見えてわかるように工夫する。③板書を写すことよりも、先生の話を理解することに集中する、などです。もしこれまでにしていなかったことがあれば、取り入れることで成績アップにつながることはたくさんあります。春期講習で実践して、成長した自分自身で新学期を迎えましょう。

4. 最後に

新中1生の皆さん、ご進学おめでとうございます。他学年と違い、新中1生は中学校の内容の予習になります。前向きな気持ちで一つ一つ確実に身に着けていきましょう。中学校は勉強が大変になりますが、開倫塾でしっかりと予習し、学校の授業を楽しく積極的に受けられる準備をしましょう。きつと好成績を取ることにつながりますよ。一緒に頑張りましょう。



私の勉強方法

塾生のひろば

新栃木校2号館

◆テレビやゲームなど、勉強の邪魔になるものがない場所をつくり、タイマーを使って勉強しています。勉強と休憩のメリハリをつけられるようになりました。

中2 K・R

◆私は、学校から帰ってきたらすぐに勉強をするようにしています。また、休憩をとると集中力が切れるため、あまり意識しないように心がけています。

中2 A・D

◆苦手なところは授業中のノートをもう一度まとめたり、問題を解き直したりしています。また、好きな科目と絡めて楽しく勉強できるようにしています。

中2 K・A

◆定期テスト3週間前からワークを中心にテスト勉強をしています。2週間前で完璧にできるようになれば、80点～90点は余裕で取れます。

中2 M・R

◆私が日常的に行っていることは、「今日はどこまでやるか」の目標を立てることです。やる気も上がって勉強がはかどりやすくなります。

中2 E・A

◆新しい単元を勉強するときには、ワークを解く前に教科書をよく読み、動画を見て、全体の流れをつかってから問題を解くようにしています。

中2 F・N

◆私は、苦手なところを無くすために、できなかった問題に印をつけておき、後日もう一度取り組むようにしています。

中2 K・H

◆学校のワークを繰り返し解くだけでなく、どんな問題が出るかを意識しながら問題集やプリントも解いています。

中1 N・Y

◆部活動で勉強時間があまり確保できない日もあるので、時間を有効活用し、集中して取り組むようにしています。ワークは3回繰り返すようにしています。

中1 I・Y

◆様々な勉強方法を試し、自分に合う方法を見つけられるように心がけています。1日の勉強量を決めてから、学習に取り組むようにしています。

中1 W・Y

◆僕は、朝早く起きて勉強するようにしています。1日に進めるワークの量を調節し、何回も解くようにしています。

中1 H・S

◆テスト1週間前までにワークを終わらせて、塾で配付された問題集やプリントで仕上げます。塾や図書館など、集中して取り組める環境で勉強しています。

中3 S・N

◆僕は、勉強する部屋には絶対にスマホを持ち込まないようにしています。また、国語の読解問題は時間を意識して解くことを心がけています。

中3 S・K



新栃木校2号館では、普段から自己学習の取り組み方について指導をしています。塾生の皆さんそれぞれに創意工夫が見られ、とても頼もしく感じます。また、スマホやゲームとの向き合い方の工夫や、動画を見て学習するなど、現代の中学生らしい一面も見受けられて大変興味深いです。

新栃木校2号館校長 稲垣幸生

2月日程表		
1	日	中3日曜ゼミ⑥(茨)⑦(群) 中3入試対策ゼミ⑯(東京)
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	小学生テスト(北関東) 中3入試対策ゼミ⑱(東京) 栃木放送開倫塾の時間
8	日	中3日曜ゼミ⑦(栃・茨)⑧(群) 中3入試直前特訓①(東京)
9	月	
10	火	
11	水	建国記念の日
12	木	3学期授業終了(中3群)
13	金	中3入試直前講習(群)
14	土	中3入試直前講習(群) 中3入試対策ゼミ⑳(東京) 栃木放送開倫塾の時間
15	日	中3日曜ゼミ⑧(茨) 中3入試直前特訓②(東京)
16	月	中3入試直前講習(群)
17	火	中3入試直前講習(群)
18	水	中3入試直前講習(群)
19	木	群馬県公立高入試① 3学期授業終了(中3茨)
20	金	群馬県公立高入試② 中3入試直前講習(茨)
21	土	中3入試直前講習(茨) 栃木放送開倫塾の時間 東京都立高入試
22	日	中3日曜ゼミ⑧(栃)
23	月	天皇誕生日 授業あり(北関東 東京) 中3入試直前講習(茨)
24	火	中3入試直前講習(茨)
25	水	
26	木	3学期授業終了(小6～中3栃) 茨城県立高入試
27	金	中3入試直前講習(栃)
28	土	3学期授業終了(小6～中2群・茨) 中3入試直前講習(栃) 3学期授業終了(小6～中3東京) 栃木放送開倫塾の時間

※12月31日現在の予定です。

学力の向上を目指して…

私の勉強方法 No. 206

栃木市立大平中学校(大平校) 1年
K・S

1. テスト前にやるべき勉強方法

私がこれから紹介するのは、テスト前にやるべき二つの勉強方法です。自分で考えることで、教科ごとの先生の出題傾向が分かります。私は、この勉強方法で成績上位を取り続けることができました。

2. まとめノートは直前に作る

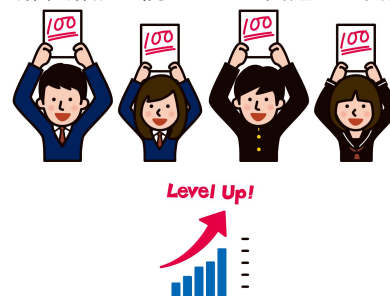
一つ目は、社会・理科・国語などの暗記科目のまとめノートは、テストの直前に作ることです。私は、テスト当日に緊張して、頭が真っ白になってしまうことがあります。しかし、前日に作ったまとめノートをテスト前に繰り返し見えておくと、テスト中に悩んでしまっても、何度も見返しておいたおかげで思い出すことができます。また、テスト直前に作ること、よく分かっていないところや忘れていたところを思い出すこともできます。



3. 自分で予想テストを作る

二つ目は、自分で予想テストを作り、当日の朝に解くことです。当日の朝にテストを解くことで、問題を解くことに慣れます。また、自分でテストを作成することで、「この先生は、こんな問題を出題するのではないかと推測して、対策をすることができます。自分で問題を解くことで、自分の苦手な分野や弱点を直前に確認し、対策することができるのです。

入試問題を解くときや、検定などの対策勉強をするときも同様です。過去問などを解いて間違えた問題や分からないところなどは、塾の先生に質問したり、徹底的に解答解説を読んだり、間違えた問題のやり直しをしたりします。



重要なのは、自分が覚えられないまでしっかりと学習することです。ぜひ、皆さんも私の勉強方法を参考にしてみてください。

「開倫塾ニュース」2026年2月1日号

編集者＝開倫塾教務部

発行所＝開倫塾

(栃木県足利市堀込町145 TEL0284-72-5945)

発行責任者＝林 明夫

CRT 栃木放送「開倫塾の時間」・ラジオ栃木放送(1530kHz、1062kHz、864kHz <http://www.crt-radio.co.jp/>) 毎週土曜日午前9時15分～25分。塾長林明夫が、塾生だけでなく社会人も含めて一生涯活用できる「効果の上がる勉強方法とは何か」をテーマに、39年間語り続けている世界に1つしかないラジオ番組です。